

## 米物価は鈍化見込み=米消費者物価指数

2024年2月12日(月)

13日22時半に1月の米消費者物価指数(CPI)が発表されます。  
前回12月の米CPIは前年比+3.4%と、11月の+3.1%から伸びが加速しました。市場予想の+3.3%と比べても強い伸びでした。  
一方、食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+3.9%と、11月の+4.0%から伸びが小幅ながら鈍化しました。  
ただこちらも市場予想の+3.8%を上回る伸びとなっています。前月比は+0.3%(2月9日発表の改定で+0.2%に下方修正)と9月分以来の高い伸びとなりました。コア指数は+0.3%でした。

前回の内訳をみると、エネルギー価格が前年比が-2.0%と11月の-5.4%からマイナス幅を大きく縮めました。  
なかでもガソリン価格は11月の-8.9%から-1.9%までマイナス幅縮小が見られました。  
食品価格は前年比+2.7%と11月の+2.9%から鈍化。2022年8月をピークに16カ月連続での伸び鈍化となりました。  
エネルギー価格の鈍化一服が全体を押し上げた形です。

コア指数は財部門が11月の横ばいから+0.2%となりました。  
14カ月連続でマイナス圏の中古車価格は11月の-3.8%から-1.3%にマイナス幅が縮小しており、  
全体を押し上げる形となっています。サービス部門は全体の34.8%、コアの43.7%のウェイトを占める住居費の鈍化が続き、  
11月の+6.5%から+6.2%となりました。帰属家賃、賃料共に伸びが鈍化傾向にあります。  
ただ自動車保険が+20.3%になるなど、輸送サービスの伸びが強いことなどを背景に、  
サービス全体では+5.3%と11月の+5.5%からは鈍化も小幅なものとなっています。

今回の予想は前年比+2.9%、コア前年比+3.7%と12月から鈍化見込みです。  
前月比は+0.2%、コア前月比+0.3%と12月と同程度の伸びが見込まれています。

12月、全体を押し上げる結果となった米国のガソリン価格について、  
米エネルギー情報局(EIA)による全米全種平均で12月の1ガロン=3.257ドルから1月は3.197ドルに低下。  
前回見られた前年度の変化による見かけ上の変化についても、  
2022年12月から2023年1月にかけてガソリン小売価格が上昇していることから、  
見かけ上の低下幅が大きくなる形で作用します。

また、米国のインフレターゲットの対象であるPCEデフレータは12月、全体が11月と同水準の+2.6%、  
コアが11月の+3.2%から+2.9%に鈍化、CPIも12月分の下方修正が発表されるなど  
物価の鈍化傾向が継続していると見られることから、市場予想前後の伸び鈍化は十分にありそうです。

市場予想前後の鈍化が見られても、3月の利下げ開始期待が復活することは難しいと見られますが、  
一時は100%織り込む勢いであった5月までの利下げ開始について、期待を支える材料としてドル売りにつながる可能性があります。

もう一つの注目材料は15日22時半の1月米小売売上高です。  
前回12月は市場予想の+0.4%を上回る+0.6%と好調な売り上げを示し、  
米個人消費の活況さの認識から、3月の利下げ期待を後退させる材料となりました。

自動車販売が好調で全体を支えました。もっとも自動車を除くコア前月比でも、  
オンライン売り上げの好調さなどを背景に+0.4%と市場予想の+0.2%を超える伸びとなっており、消費の力強さが意識されました。

今回の予想は前月比-0.1%と前回の反動もあってマイナスが見込まれています。  
前回好調であった自動車販売は、年初からの米政府による電気自動車の購入奨励策の要件変更を前に、  
1月の購入予定を前倒して12月に購入する動きが入っていたと見られており、  
その反動で自動車販売の前月比マイナスが見込まれます。  
米調査会社は1月の米新車販売が前年同月比-1.5%であったとの見通しを示しています。  
自動車を除くコアは前月比+0.2%とプラス圏維持見込みです。

前回が強すぎた面があるだけに、予想前後であれば相場の反応は限定的なものになると期待されます。  
ただ、ブレが大きい指標だけに要注意。13日の米消費者物価指数が弱めに出て、小売売上高も弱く出ると、  
ドル売りが一気に進む可能性があります。

ここに掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品などの投資の勧誘を目的としたものではありません。  
最終的な投資判断は、お客様ご自身の判断と責任によってなされ、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても「株式会社ミンカブソリューションサービス」では責任を一切負いかねます。「株式会社ミンカブソリューションサービス」は、  
信頼できる情報をもとに情報を作成しておりますが、正確性や完全性について責任を負いません。ここに掲載されている情報は、作成時点のものであり、市場環境等の変化などによって予告なく変更または廃止されることがあります。ここに掲載され  
ている情報の著作権は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドに帰属し、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドの許可無しに転用、複製、複写はできません。株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド